

全国の地方衛生研究所等から発行された年報集の電子化

平山 文俊

Converted into Electronic Document from the Printed Matter of Annual Reports

Fumitoshi HIRAYAMA

はじめに

年報は、地方衛生研究所が実施した業務の概要とそれによって得られた調査研究の成果を内容とするもので、保健・環境行政を進めていくうえで必要な科学的根拠となる情報を掲載する貴重な印刷物である。その内容の中には当該都道府県に限らず広く全国で活用できる調査研究成果が多数含まれているため全国的に共有して活用できるようにすることが必要と考えられた。また印刷物は保管場所が必要、紙質の劣化、紛失を防止する等、図書管理上の課題があり、それを解決する必要があった。

そこで1980年(昭和55年)以降に発行された年報を電子図書に変換し、目的とする書籍の迅速な検索・閲覧と図書管理の簡便化を図った。

方法

図書の電子化作業は事務用複写機のスキャナー機能を利用し、複写機とパソコンをLANで接続し、文書ファイル編集ソフトを使用して行った。印刷物は綴じの背表紙部分を切断機で切断し一枚ずつにして、両面、自動、連続スキャンを行いLANでパソコンに取り込んで電子化を行った。

作成された電子化年報ファイル(コンテンツ)は10GB強のものになるため外付けUSBハードディスクに都道府県別にフォルダを分けて保存した。ファイルの種類はDocuWorks文書、書籍の検索・閲覧はWebブラウザで都道府県一覧表から該当県の研究所、発行年度、次に電子図書にリンクして行えるものとした。

結果および考察

印刷物から電子文書への変換作業は1年分を2日程度の日数で、22年分、約2千冊を処理し、比較的短期間に終了することができた。また印刷物から変換したイメージデータ形式の電子文書をプリンターで出力した印刷物は複写機の場合と品質は変わらず十分に満足できるものであった。その後、検索し易くするためトップページの各県一覧表

と各県の研究所の発行年度一覧表、発行年度と各年報の電子文書をリンクしてコンテンツを完成した。

閲覧は、市販のフリーソフトウェア DocuWorks Viewer Light for Web をブラウザにプラグインして、インターネット環境で使用できるものとしたが、イメージデータの情報容量が大きいという弱点はデータ処理速度の高速化、処理容量の大容量化というハード面での最近の技術発展によってカバーでき、イメージデータであってもテキストデータと比較して違和感無く使用できた。

このコンテンツによって、過去に全国の研究所から発行された年報をいながらにして短時間で閲覧し、必要な部分のページを指定して印刷できる環境が整い、全国地研の文献の入手を迅速に行うという初期の目的を実現できた。

地方衛生研究所全国協議会が発行する地方衛生研究所業績集データベースによって、目的とする研究課題を検索し、対象となる地方衛生研究所と年報の発行年度を決めて当システムを使用することで更に迅速な検索・閲覧ができるようになるものと考えられた。

年報を更に研究課題ごとに分割することによって検索を迅速化することもできるが、研究文献は時間の経過とともに閲覧頻度が少なくなる事情も考慮し、作業費用対効果で判断し行わなかった。今後、年報の公表は電子文書によっても行われるようになるものと考えられるので印刷物からの電子文書化は今回限りのものであると考えられた。

この作業に伴って図書室の整理作業に取り組んでいるが、他の文献等も電子化することが望ましいと思えるものが多く、今後、著作権の問題等を解決し、民間活力によってコンテンツ化していくことが必要であると考えられた。さらに、ネットワークによって研究報告が全国配信される方向に発展することが必要である。